

2022年（令4）12月3日（土）晴れベースであったので土、日と二日使って2022年度最後のウォークに出かけた。

今回のウォークは、比較的短いコースの組み合わせであったから⑰御宿海岸をあるくみち（10km）、⑱荒磯の道（8.5km）、⑲理想郷を訪ねる道（3.2km）、⑳海と森をつなぐ道（途中まで歩く）コースを泊りがけで連続して歩いた。



「関東ふれあいの道（千葉）⑰御宿海岸を歩くみち」 コース図（千葉県環境生活部自然保護課）



横浜から電車に乗ると、千葉駅で外房線に乗り換えて、上総一ノ宮駅からさらに鴨川行に乗り換え、浪花駅（なみはな）には9:45に着く。乗客は少なく、浪花で降りたのは私一人。もちろん無人駅だ



コースの浪花小学校を目指すと、道の傍らに江戸時代の道標があった。此の方**、彼方江戸と読める国道128号線をさすのだろうか。



みすみ市立浪花小学校には二宮金次郎像が健在



山間の道を抜けると庚申塔が並ぶ岩船集落に出て、潮の香りが鼻腔をくすぐる



岩船漁港



漁港の傍らに岩船地藏尊がある。



地蔵尊の石仏は、潮風や飛砂に削られて、無残な姿に変身している



日本三岩船地蔵の一つ。鎌倉時代運慶の作と伝える身の丈 33 c m の地蔵尊を祀る



太平洋は風があり波が荒い、今日は特別かな



東側もおなじだね



船溜まりの傍らでは、おかみさんらが「今日の漁は休み」と言っていた



「釣師海岸」高さ 60m に及ぶ海蝕海岸。外房第一の景観を誇る。太古の地層が良くわかる



海岸沿いは断崖絶壁のため道がなく、内陸部を迂回する。迂回路もまた素敵な道だ



御宿町の沢崎に入ると、関東ふれあいの道の石柱があった



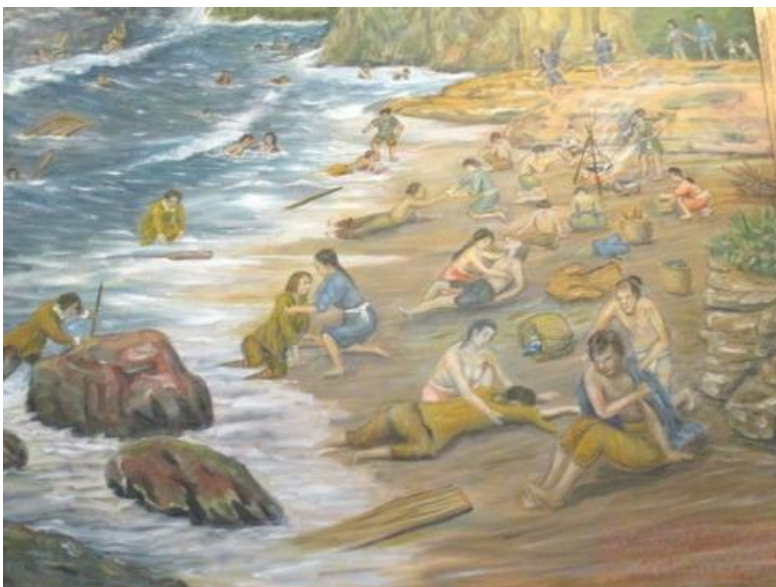
雨が来た



小池集落を抜けて岩和田の集落に入ると、メキシコ記念公園への道標を見つけた



「岩和田の海岸」 関ヶ原の合戦が終わって、慶長19年（1609）スペイン船がフィリピンからメキシコに向かう途中暴風雨に合い、この岩和田の沖合で難破し遭難する



村人たちは総出で救助し、373名中317名の命を救い、体力回復後江戸に向かう（御宿歴史民俗資料館）



徳川家康は三浦按針に船を造らせ、翌年彼らをメキシコに送り届けた。この出来事を機に日本はスペイン、メキシコと修交を結ぶ礎となった



「日・西・墨交通発祥記念碑」昭和53年、高さ17m白大理石の立つ公園の除幕式には、ロペスメキシコ大統領が来日して除幕式を行った。

抱き合う銅像は、岩和田のおかみさん達が、素肌で遭難者を温めたという故事に因む



道標に従って海岸に出て、月の砂漠記念公園に向かう



海岸に出ると素敵な遊歩道に会う、案内板を見たら「月の砂漠通り」となっていた



入り江に潮が入ってきてその奥が砂丘らしい



「月の砂漠記念公園」 御宿町の観光スポット、石造りの三日月にラクダが良く似合う



”月の砂漠を はるばると 旅のラクダが 行きました・・・”
詩人「加藤まさお」は大正 12 年この海岸で作詞した。当時は起伏激しい砂丘の連続であったと言う。
風紋のデザインが素敵だね



折角だから私も記念に一枚、パチリ



御宿駅 15 時到着。ロマンティックな駅だ（無人駅）



今宵の宿泊場所は御宿駅そばのビジネスホテルにご休泊

[参考タイム] 浪花駅 (10:45) → 岩船地藏尊 (11:35-11:40) → 沢崎稲荷 ((昼食) 12:00-12:20)
→ 小池T字路 (12:45) → メキシコ記念碑 (13:50-14:00) → 月の砂漠公園 (14:30-14:45) →
JR 御宿駅ゴール (14:55)

この項完

「関東ふれあいの道 (千葉) ⑱ 荒磯のみち」に続く